



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 33

発行 令和3年11月26日
発行責任者 校長 菅野 靖



晩秋の雲一つない青空の下 校内駅伝大会を実施

11月19日(金)の3,4校時に、校内プチ駅伝大会を実施しました。本来であれば、8月29日に行われるはずであった五箇地区内を襷でつなく校内駅伝大会でしたが、規模を縮小して校地の外周を襷でつなく駅伝競技に変更しての実施となりました。

PTAの方や小学生の参加はないものの、チーム編成は8月のチームのままで、1チーム8人編成で5チームが競技に臨みました。校庭からスタートし、一人の選手は外周を一周し襷をつないで、アンカーは校庭を周回しゴールします。当日人数が足りないチームには、深谷先生と和田先生、そして高久先生が助っ人として参加しました。どのチームも心を一つにして、励まし合い、声援を送り合い、襷をつないでゴールすることができました。優勝したチームは「ヨッシー」チームで、2位は「星野ジュンコ」チーム、3位は「炎」チームでした。



【第1区のスタートの様子】

【区間賞】1区：大竹琉天さん 2区：佐藤陽香さん 3区：吉田南々美さん 4区：古山大貴さん
5区：井上透矢さん 6区：松崎煌真さん 7区：齋藤正弥さん 8区：吉田悠斗さん

五箇地区内の7つの地区を襷でつなぐはずでしたが、1年生から3年生の全員で襷をつなぎ合い競走し合うことができたことは、久々にチームのために一生懸命に競走し、チームのために応援し合いながら絆を深めることができ、競技ができたことに感謝しています。当たり前が当たり前でない昨今、どうか形や方法を変えて目的を果たすことは大切であり、意義ある行事でした。



【ヨッシーチーム】



【星野ジュンコチーム】



【炎チーム】



【ゆっくり行こうやチーム】



【鈴木石材加工店チーム】

五箇中学校区学校保健委員会 実施

五箇小学校とのオンライン会議を実施

11月18日(木)に第2回の五箇中学校区学校保健委員会が実施され、歯に関する健康について理解を深めました。例年だと、全校生と職員で五箇小学校に伺い、会に参加していましたが、今年度はリモートでつなぎオンラインでの委員会となりました。

講師に福島県栄養士会の管理栄養士で、栄養教諭としての勤務経験のある鈴木百代先生をお招きし、「歯に良い生活習慣を意識しよう ~自分の体は自分でつくる~」という演題で、歯の健康のために必要な栄養や噛むことの大切さについての講話を頂きました。

講演の中で、噛むことの大切さと糖分に関する話の際には、えびせんとうスルメの食べ比べや、手作りのスポーツドリンクの試飲もあり、自分の体を作るためにどんなことができるのか、しっかりと考える時間になったのではないのでしょうか。



【熱心にオンラインでの会に参加する五箇中生】

2年生が白河藩主「松平定信」について学びを深めました

歴史・文化再発見事業

白河市では、小中学生に白河の歴史と文化を知ってもらい、ふるさとに誇りをもってもらうために、小学校1年生から中学校3年生まで白河の歴史や文化についての授業が行われています。その一環として、2年生では、白河市歴史民俗資料館・小峰城歴史館の小野英二主任学芸員に来ていただき「松平定信」についての授業が行われました。幕府の老中としての寛政の改革や白河藩主としての政治、「渋沢栄一」とのかかわりについて学びました。



【「松平定信」についての授業を受ける2年生】